

フォナック ターゲット 7.0

フォナック ターゲット フィッティングガイド

使用目的:

フォナック ターゲットは、対象人物の特定の要件に対し、補聴器を設定、プログラム、フィッティングするために、資格のある聴覚専門家が使用する、スタンドアロンをベースとしたフィッティングソフトです。

この取扱説明書は、フォナック ターゲットで補聴器をフィッティングするための詳細な入門書です。電子版は phonakpro.com のフォナック ターゲット サポート ページから入手できます。フォナック ターゲット開始画面で [\[ニュース\]](#) も閲覧できます。

使用目的:

資格のある聴覚専門家。

対象:

ソフトウェアは、補聴器のフィッティングを必要とする、慢性的な耳鳴りを伴う軽度～重度の一側性または両側性難聴の方を対象としています。耳鳴りノイズ・バランスは、18 歳以上が対象です。

適用:

適用はフィッティングソフトではなく、互換性のある補聴器に基づいています。補聴器と耳鳴りノイズ・バランスの一般的な臨床的適応は次のとおりです:

- 難聴があること
 - 一側性または両側性
 - 伝音難聴、感音難聴、または伝音と感音の混合性難聴
 - 軽度～重度
- 慢性的な耳鳴りがあること(耳鳴りノイズ・バランスを提供する補聴器のみ)

禁忌:

適用はフィッティングソフトではなく、互換性のある補聴器に基づいています。補聴器と耳鳴りノイズ・バランスの一般的な臨床的禁忌は次の通りです:

- 難聴レベルが補聴器のフィッティングレンジ(利得、周波数レスポンス)の範囲外である
- 急性耳鳴り
- 耳の異形(外耳道の閉塞、耳介の欠損)
- 神経性難聴(欠損した/機能しない蝸牛神経などの後迷路性難聴障害)

医療、または専門家の意見や処置に患者を照会する主な基準は次のとおりです:

- 先天性または外傷性による明確な耳の異形
- 90 日以内における耳漏の病歴
- 90 日以内における片耳または両耳の急性または急速進行性の難聴の罹患歴
- 急性または慢性のめまい
- 気導と骨導の差が 500 Hz、1000 Hz、2000 Hz で 15 dB 以上
- 外耳道の過度な耳垢の蓄積、または異物による明確な証拠
- 耳の痛みまたは不快感
- 以下のような、鼓膜や外耳道の異常:
 - 外耳道の炎症
 - 鼓膜穿孔
 - 聴覚専門家が医学的問題であると考え他の異常

下記が当てはまる場合、紹介が適切でない、または患者にとって最善の利益にならないと聴覚専門家が判断する可能性があります:

- 症状について、医療専門家によって徹底的に調査が行われ、可能な治療が提供されたことの十分な証拠がある場合。
- 前回の調査や治療以降、症状が悪化していない、または大幅に変化していない。
- 医学的な意見を求め、患者自身がアドバイスを受け入れないという適切な意思決定と説明を受けた上での決断を示す場合は、以下の項目を検討した上で、適切な補聴器システムを推奨することは許容されます:
 - 推奨することが、患者の健康や全般的な患者のウェルビーイングに悪影響を及ぼさない場合。
 - 患者の最善の利益に関して必要な全項目を検討したことが、記録により確認されている場合。法的に必要な場合に、患者自身が紹介に関するアドバイスを承認しておらず、説明を受けた上での決断に基づく判断であると確認できる免責事項に患者が署名している場合。

使用制限:

フォナック ターゲットの使用は、互換性のある機器のフィッティングと調整に限定されています。ターゲットは診断を目的としていません。

互換性のある補聴器:

プラットフォーム	フォームファクター
パラダイス	すべてのリリースされたフォームファクター
マーベル	すべてのリリースされたフォームファクター
ビロング	すべてのリリースされたフォームファクター
ベンチャー	すべてのリリースされたフォームファクター
クエスト	すべてのリリースされたフォームファクター
スパイス+	すべてのリリースされたフォームファクター
スパイス	すべてのリリースされたフォームファクター
リリック	すべてのリリースされたフォームファクター

副作用:

副作用はフィッティングソフトではなく、互換性のある補聴器に基づいています。

耳鳴り、めまい、耳垢の蓄積、血圧上昇、発汗や湿気、水膨れ、痒みや湿疹、閉塞感や膨満感、これらを原因とする頭痛や耳痛など、補聴器による身体上の副作用は、聴覚専門家によって解消または軽減できる可能性があります。以前の補聴器では、患者をより大きいレベルの音に暴露する場合があります、その音響外傷によって高周波数帯の閾値が変化する可能性があります。

臨床的利益:

患者に対する利益としては、フィッティングソフトで個人のニーズに合わせて補聴器を設定し補聴器に保存する機能があります。聴覚専門家の利益は、患者の管理に関するものです。

フォナック ターゲットの以下の機能については、それぞれのフィッティングガイドがご利用いただけます(*指定された国に限ります):

ジュニア モード

フォナック リモート サポート*

フォナック ターゲット/ALPS*

TargetMatch

耳鳴りノイズ・バランス (医療従事者向け)

検証

目次

構成とナビゲーション	4
補聴器とクロスの準備	4
フォナック トライアル補聴器の準備	5
補聴器を接続	5
レシーバチェック	6
音響パラメータのチェック	6
アクセサリー	6
フィッティング	7
基本調整	7
微調整	8
TK/利得(35 dB)	11
バイモーダル フィッティングの特記事項	12
コンプライアンス情報とシンボルマークの説明	14
安全に関する重要な情報	16
システム要件	17

構成とナビゲーション

3つのタブ[顧客]、[機器]、[フィッティング]、およびその上のダッシュボードに、簡単ナビゲーションと状態に関する情報が表示されます。

ダッシュボードでは、フィッティング状態が示され、ショートカットも利用できます。

Client Target, Phonak	Instruments Audéo M30-312	Fitting Calm situation <D>
個人データやオーディオグラムなどの全ての顧客情報がこのタブにあります。	全ての補聴器、音響パラメータ、リモコン、その他のアクセサリがここに 있습니다。 注: 電池の充電状態(充電式のみ)と Roger™ (ロジャー)のライセンス (RogerDirect™ (ロジャーダイレクト)のみ) に関する詳細を見るには、補聴器アイコンの上にカーソルを重ねてください。	全ての機器調整をここでを行います。

補聴器とクロスの準備

アイキューブ II / Noahlink Wireless

補聴器またはクロスにケーブルは不要です。電池を入れ、電池収納部を閉じ、補聴器またはクロス電源を入れます。充電式の場合は、補聴器またはクロス電源を入れるだけです。

注: クロス II またはクロス B のフィッティングについては、CROS システムですばやく微調整とデモンストレーションができるアイキューブ II の使用が推奨されています。

クロス II は、ベンチャー補聴器のみに適合します。
クロス B は、ビロング補聴器(充電式を除く)に適合します。
クロス B-R は、フォナック オーディオ B-R のみに適合します。

NOAHLINK または HI-PRO

補聴器またはクロス、およびフィッティング機器にプログラミングケーブルを接続します。

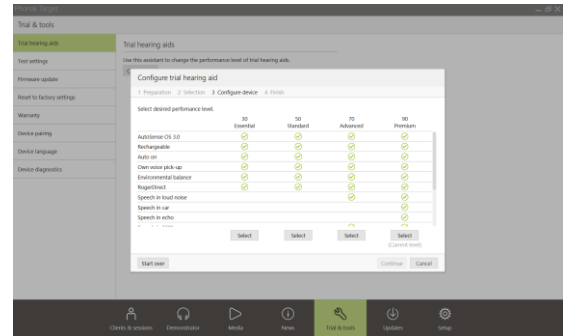
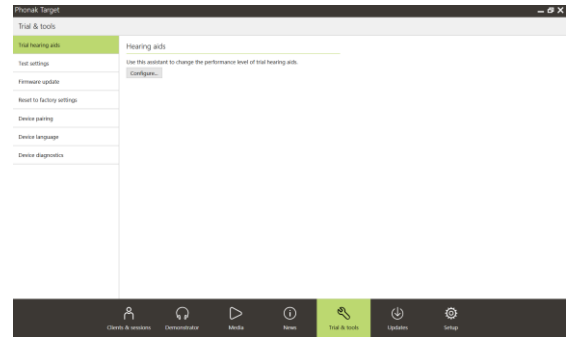
CROS フィッティングでは、ケーブルを接続した状態でクロスをデモンストレーションすることはできません。

フォナック トライアル補聴器の準備

フォナックのトライアル補聴器では、1つの機器で異なるクラスを変更することができます。[**トライアルとツール**]をクリックし、[**トライアル補聴器**]を選択し、[**クラス変更の設定**]を押して開始します。

注: フォナック トライアル補聴器はフォナック バートでは使用できません。

使用したいクラスを選択し、[**続行**]を押します。プロセスが完了すると、機器はフィッティングセッション内でフィッティング可能な状態になります。



補聴器を接続

フィッティングセッションを開き、正しいフィッティング機器が表示されていることを確認します。フィッティング機器を変更するには、ダッシュボードのフィッティング機器の隣に表示されているプルダウン矢印を使用します。

[**接続**]をクリックしてフィッティングを開始します。接続した補聴器がダッシュボードに表示されます。

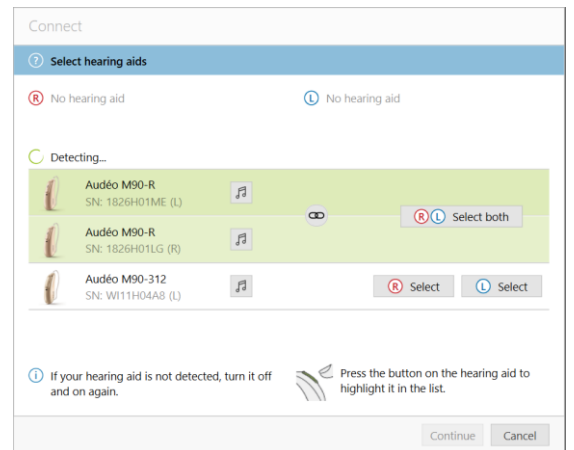
ダイレクト接続が可能な機器では、ペアリングが可能な機器が自動的に表示されます。

注:

- 機器が見つからない場合は、電池ホルダーを開閉するか、充電式補聴器の電源を入れ直して、ペアリングモードにします。
- 複数の機器を利用できる場合、または顧客に装用する側(左右)を確認する場合は、補聴器上のプログラムスイッチまたは多機能ボタンを押してリスト内で該当機器をハイライトします。
- 以前ペアリングで組み合わせた機器はリンク済みペアとして検出されます。

全ての新しいフィッティングについては、利用可能なフィッティングセッションの情報に基づいて、顧客の推奨装用歴が提供されます。

Noah からのオーディオグラムが自動的にフォナック ターゲットにインポートされ仮計算に反映されます。フォナック ターゲットのスタンドアロンバージョンでは、[**オーディオグラム**]タブでオーディオグラムを入力します。



レシーバチェック

機器が初めて接続されると、フォナック ターゲットにより RIC タイプの補聴器に接続されたレシーバが **[音響パラメータ]** 画面の選択と一致しているか確認されます。

一致していない場合は、フォナック ターゲットがその情報を通知し、レシーバチェックするよう指示メッセージを表示します。その場合、レシーバを取り替えるか、音響パラメータの選択を変更することができます。

レシーバーの再チェックを開始するには、**[チェック]** を **[音響パラメータ]** 画面でクリックします。

注: RIC タイプの補聴器で使用できるのは、ビロング、マーベルまたはパラダイスのプラットフォームのみです。

音響パラメータのチェック

フォナック ターゲットでは同じ音響パラメータをまとめて自動的にリンクさせます。音響パラメータはいつでも表示、変更、リンク解除できます。

タブ**[機器]** > **[音響パラメータ]** をクリックします。正しいカップリング情報を入力または確認してください。

可能な場合は、カップリングコードを入力します。このコードは、顧客のフォナック オーダーメイド耳せんの表面に印字されています。カップリングコードに、各顧客に異なる音響パラメータが記録されています。

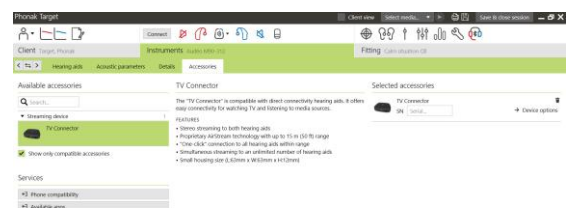
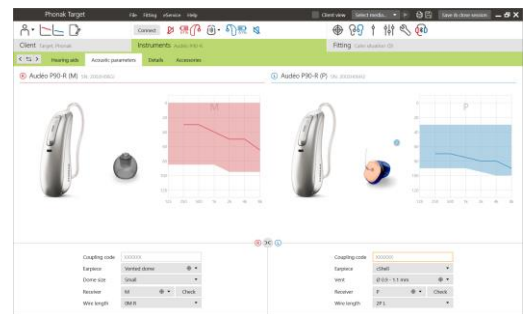
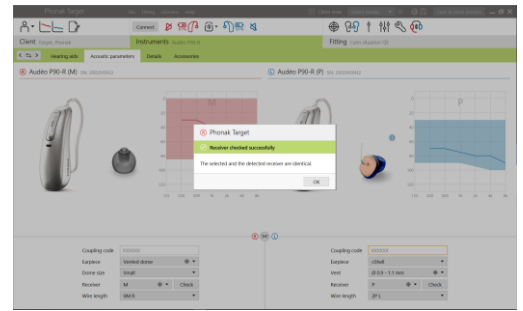
アクセサリ

接続した補聴器によっては、フォナック ターゲットは、フィッティングセッション中に接続されたアクセサリを自動的に識別できます。互換性のあるアクセサリはダッシュボード内の接続した補聴器の横に表示されます。

アクセサリは、タブ**[機器]** > **[アクセサリ]** で手動によっても選択できます。

保存の手順中、アクセサリは保存ダイアログにリストされます。

注: アクセサリからストリーミングする際は、クロスが自動的に切断されます。ストリーミングを停止すると、クロスは自動的に再接続されます。



フィッティング

[**フィッティング**]をクリックして、[**ハウリングと実耳テスト**]にアクセスします。

ハウリングテストは、両耳で行うことも、片耳だけで行うこともできます。[**右**] / [**両耳で開始**] / [**左**]のいずれかをクリックして、テストを開始します。

注: フォナック リモートサポート セッション中はハウリングテストを実施することができません。

ハウリングテスト結果を使用して予測 RECD と音響パラメータを計算するには、[**ハウリングテストの結果を予測ベントに使用する**]のチェックボックスにチェックを入れます。このチェックボックスは、システムがベント評価が可能だと判断された場合にのみ使用できます。

注: フォナック パラダイス補聴器は利得の限界をさらに上げるため、ハウリング閾値のオーバーチューニングが可能です。オーバーチューニングするには、矢印をクリックしてください。利得の限界まで上がると、上げられた利得の限界を示すために紫色の領域が現れます。赤色の領域は、ハウリングのリスクとひずみがさらに大きい領域であることを意味します。

オーディオグラムダイレクト

オーディオグラムダイレクトは、フォナック ターゲット内で実施できるインサイチュ聴力測定です。これは診断的な聴力検査に代わるものではありません。オーディオグラムダイレクトを使う前に[**ハウリングと実耳テスト**]が実施済みであるか確認してください。

接続した補聴器を使用して気導聴力閾値(AC)と不快閾値(UCL)をテストするには、[**オーディオグラムダイレクト**] > [**開始**]の順にクリックしてください。フォナック リモートサポート セッション中は不快閾値測定は無効です。

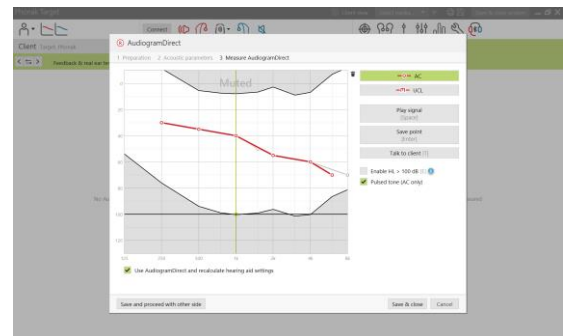
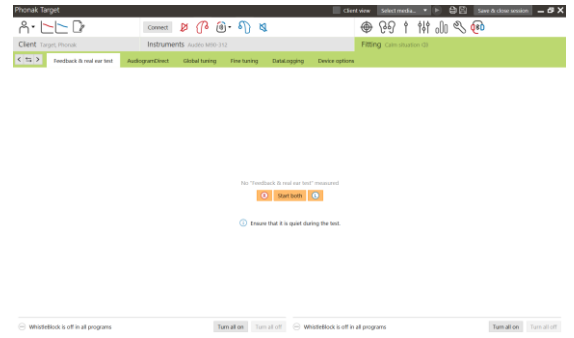
過去の聴力測定結果については、[**履歴**]をクリックして比較およびレビューできます。

AC 測定および不快閾値測定の初期設定動作を変更するには、[**スタートアップ**] > [**フィッティングセッション**] > [**オーディオグラムダイレクト**]の順に進みます。

基本調整

利得レベル、閉塞感対処、圧縮比の調整が必要な場合は、[**基本調整**] > [**初期フィッティング**]の順に進んでください。利得レベルおよび圧縮比設定は、顧客の装用経験および選択された処方式に基づいています。

接続した補聴器によっては、画面下部にあるタブから[**耳鳴りノイズ・バランス**]、[**CROS バランス**]などの追加ツールにアクセスできます。クロスと補聴器のラウドネス比率を調整するには、[**CROS バランス**]をクリックします



自動順応マネージャ

自動順応マネージャを使用する前に、**[ハウリングと実耳テスト]**が実施済みであることを確認してください。

[初期フィッティング]タブの利得レベルメニューで**[自動順応マネージャ]**を選択します。

[...]をクリックして、開始時のレベル、終了時のレベル、および補聴器の利得が設定した終了時のレベルまで自動的に上昇する時間を指定します。

注: フォナック パラダイス補聴器の場合は、自動順応マネージャを作動させる前に**[ハウリングと実耳テスト]**を実施する必要はありません。自動順応マネージャを作動させるには、チェックボックスにチェックを入れます。目標利得および顧客が目標利得に到達するまでに必要な継続日数を指定します。

リアルタイムディスプレイ

リアルタイムディスプレイにアクセスするには、画面上部のメニューバーでチェックボックス**[顧客画面]**をクリックします。

リアルタイムディスプレイは全ての補聴器で利用できるフィッティングカーブ表示オプションで、顧客にわかりやすい拡大画面で、ディスプレイがもう 1 台あれば顧客専用ディスプレイとして表示できます。

利用可能なステレオやサラウンドの音サンプルを使用する場合は特に、語音明瞭度の改善・利得・出力・サウンドリカバーおよびチャンネル解像度を簡単にデモンストレーションできます。

微調整

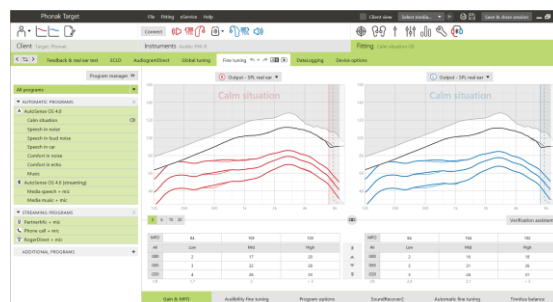
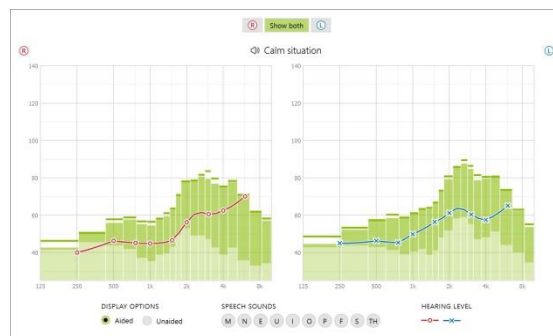
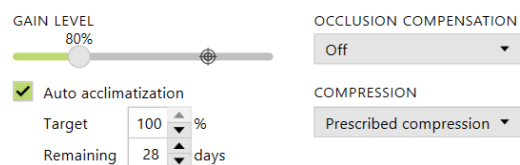
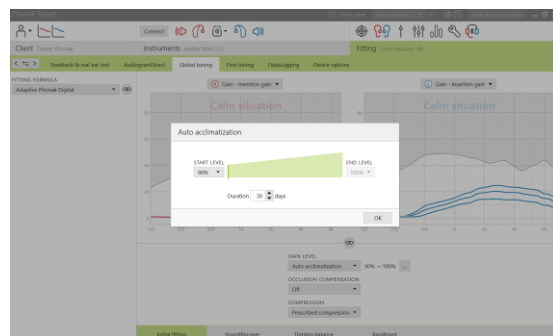
[微調整]画面の左側は、プログラム処理に使用します。

全てのプログラムを同時に調整するには**[全てのプログラム]**をクリックします。全てのオートマチックプログラムを修正するには、**[オートセンス OS]**をクリックします。ストリーミング用のオートセンス OS を修正するには、**[オートセンス OS (ストリーミング)]**をクリックします。

単一プログラムを修正するには、プログラムリスト内から**[静かな環境]**など選択し、必要に応じて調整します。

追加プログラムを追加するには**[+]**アイコンをクリックします。

プログラム上の**[プログラムマネージャ]**をクリックするとプログラムを管理できます。ここでは、スタートアッププログラム、プログラム構成、ストリーミングプログラムをカスタマイズできます。元に戻す/やり直しの矢印がメニューバーの**[微調整]**の隣にあり、微調整画面でステップを元に戻したり、やり直したりするために使用できます。



画面下部のタブから、フィッティングツールにアクセスできます。各ツールには、補聴器を微調整するための特殊な微調整機能が含まれます。

利得&MPO

調整したい利得値をカーソルで選択します。利得値は大中小の入力音を調整可能です。顧客のオーディオプログラムに個別の不快閾値を入力すると最適なフィッティングレンジを使用できます。

全帯域で MPO を同時調整するには MPO 値の左側にある **[MPO]** をクリックします。全体の利得を変更するには **[利得]** をクリックします。

各周波数の圧縮比は利得値の直下に表示されます。

オーディビリティ ファインチューニング

選択可能な音サンプルに関連する利得は特性画面に表示されます。特定の聞き取り環境をシミュレーションするために、音サンプルを再生できます。

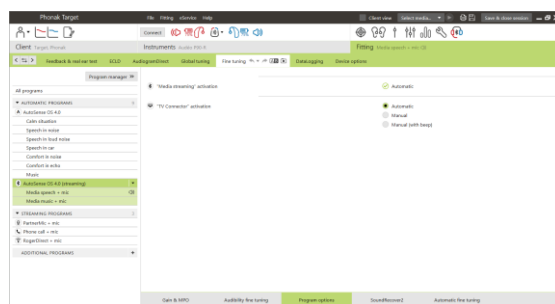
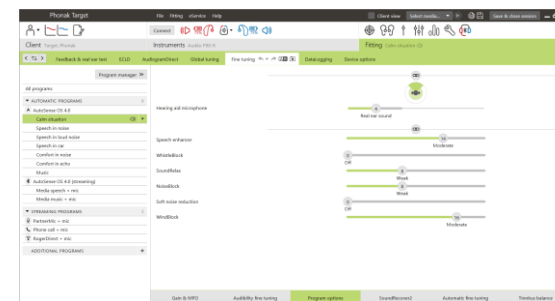
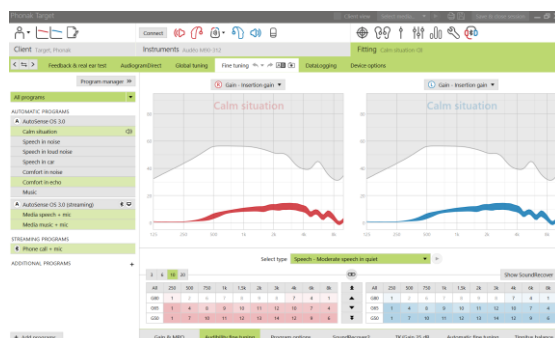
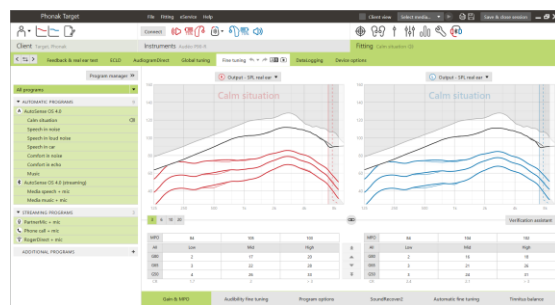
利得値は大中小の入力音別に表示されます。調整は、選択した刺激の可聴性の増大に関連する利得レベルと周波数のみに影響し、異なるシェードの赤/右と青/左で表示されます。

プログラム オプション

プログラム オプションは、セッションに入る前の初期設定画面から設定しておくことが可能です。各プログラム別に複数の機能を有効または無効にしたり強さを変更したりできます。各スライダー内で使用可能な範囲が表示されます。範囲はパフォーマンスレベルにより異なります。

ダイレクト接続性の補聴器については、ストリーミングにアクセスするデフォルトの切り替え動作を変更できます(テレビコネクタ、Roger™(ロジャー)、Phonak PartnerMic™(フォナック パートナー マイク)):

- **[オートマチック]** - 補聴器は自動的に切り替わり、ストリーミング信号を受信します(初期設定)。
- **[マニュアル]** - ビープ音は聞こえません。プログラムが最終プログラムとして追加されます。
- **[マニュアル(ビープ音あり)]** - ビープ音が補聴器内で聞こえてきます。顧客は、ストリーミング信号を受信するかを手動で選択できます。



サウンドリカバー2

サウンドリカバー2用の個別設定は、最初に仮計算で設定され、その後に微調整が可能になります。両耳フィッティングの場合、カットオフ周波数および周波数圧縮比は良聴耳に基づいて計算されます。以下のステップは成人用のフィッティングに適用されます。ジュニアフィッティングはジュニアモードフィッティングガイドおよびベストプラクティスをご参照ください: ジュニア検証またはサウンドリカバー2

サウンドリカバー2は、適応行動が可能な周波数圧縮システムです。サウンドリカバー2は2つのカットオフ周波数(CT1とCT2)で定義されます。

サウンドリカバー2のデフォルトは、以下のようになっています。

- オン: 8 kHzの閾値が45 dB HL以下で、水平型または漸傾型の聴力タイプ。
- オフ: 逆漸傾型難聴タイプ(8 kHzが3 kHzよりも30 dB以上優れている)。

初期設定でオンの場合、サウンドリカバー2は全てのプログラムで有効です。[サウンドリカバー2を有効にする]のチェックボックスをクリックすることで、サウンドリカバー2を無効にできます。

サウンドリカバー2の設定は特性画面で確認できます。色付き領域は、サウンドリカバー2が有効になっている周波数領域を意味します。

- 最初の実線は、カットオフ周波数1(CT1)です。
- 点線は、カットオフ周波数2(CT2)です。
- 3番目の線は、最大出力周波数です。

アダプティブコンプレッションは、CT1とCT2の間の色付き領域内の周波数に対して適用されます。入力エネルギーの大部分が高音域を占めている場合、この周波数領域が圧縮されます。

CT2と最大出力周波数の間の色付き領域内の周波数は常に圧縮されます。CT1より低い周波数は常に圧縮されません。全ての周波数において、最大出力周波数を超えて出力されることはありません。

サウンドリカバー2を微調整するには、[微調整]>[サウンドリカバー2]の順にクリックします。スライダーを動かすと、カットオフ周波数、圧縮比、および最大出力周波数に影響します。

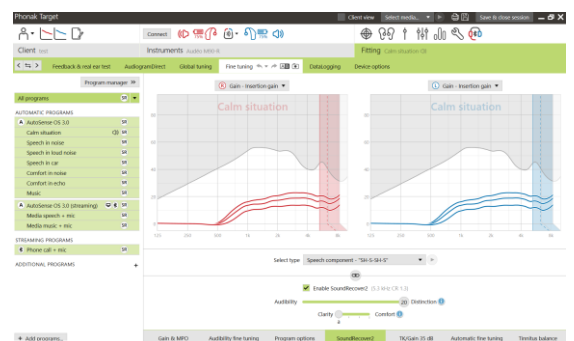
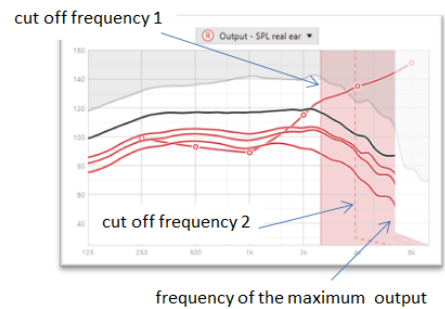
/s/と/sh/の検出を高めるためには、[可聴性]の側にスライドします。

/s/と/sh/の差を識別する能力を増大するには、[識別性]に向けてスライドします。

男性の声、自声音、音楽などの音の自然さを高めるためには、[快適性]に向けてスライダーを動かします。

注: 微調整する場合は、[可聴性/識別性]スライダーから調整することをお勧めします。低音域と中音域の音質を最適化するため、[可聴性/識別性]スライダーを調整するたびに、[明瞭度/快適性]スライダーはリセットされます。

✓ Enable SoundRecover2 (3.7 kHz CR 1.1)



検証方法:

以下の検証方法は成人用に推奨されるもので、良好手法から最良手法(ベストプラクティス)の間に分類されます。

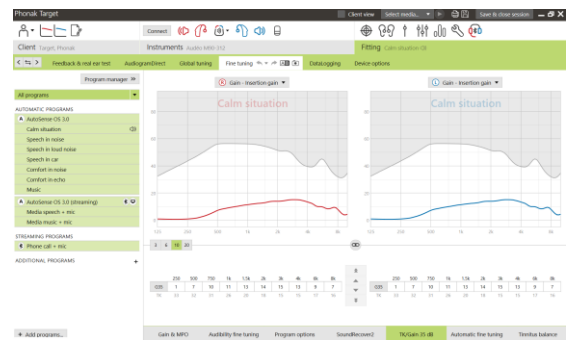
1. **良好:** 肉声による/sh/や/s/、または「Mississippi」が検出できるか確認します。「moon」や「name」のようなことばで母音を確認します。
2. **より良い:** 検査箱での検査
3. **最良:** 音素認識テスト - 特に、高度重度難聴を抱える成人に対して微調整が必要な場合。(詳細については、音素認識テストの取扱説明書を参照してください)

TK/利得(35 dB)

非常に小さい(G35)入力音の増幅は、この調整ツールで調整できます。非常に小さい入力音の利得を増加させるとニーポイント閾値(TK)が減少し、利得を減少させるとニーポイント閾値TKが増加します。

調整したい値をカーソルで選択します。利得値の下には、各チャンネルのTK値が表示されます。非常に小さい入力音の利得/出力カーブが特性画面に表示されます。

注: このタブは、フォナック パラダイス補聴器では利用できません。小さい入力音を調整するには、**[プログラム オプション]**にあるソフトノイズリダクションのスライダーを使用します。



オートマチック ファインチューニング

使用状況に基づき微調整するツールです。使用可能な調整は、音環境に対する着用者自身の主観評価により異なります。

微調整に必要となる変更内容は、調整内容を適用する前に詳細内容が表示されます。選択したプログラムによっては、推奨される音サンプルが事前に選択されます。

聞き取り環境をシミュレーションするために、音サンプルを再生できます。



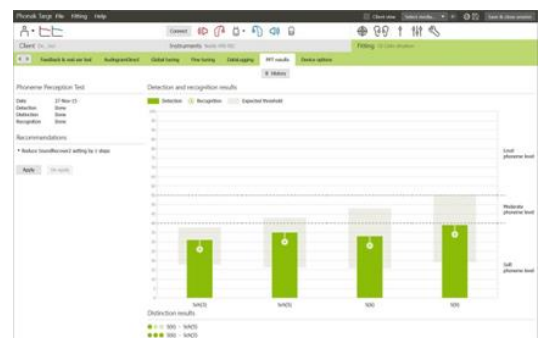
音素認識テストの結果

前の音素認識テストに関する結果が表示され、フィッティングを改善するため適用できます。Noah を使用している場合にのみ、**[音素認識テスト結果]**画面からテスト結果へアクセスできます。

注: アダプティブ・フォナック・デジタル(処方方式)を使用する場合に限り、微調整の推奨値が提供されます。

データログ

データログからは、ユーザーが置かれた聞こえ環境および置かれた時間についての情報が得られます。データログ情報にアクセスするには、**[フィッティング]**>**[データログ]**の順に進みます。



機器オプション

[**機器オプション**]をクリックすることで、多機能ボタン、お知らせ音と警告音、スタートアップ動作、データログなどの補聴器オプションを設定できます。

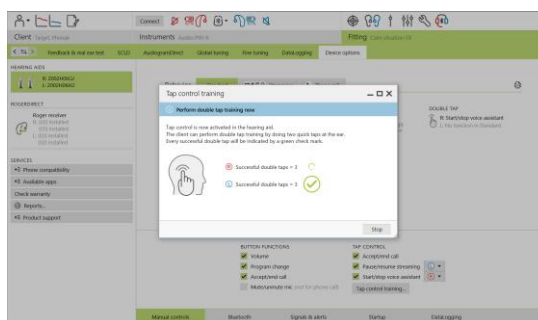
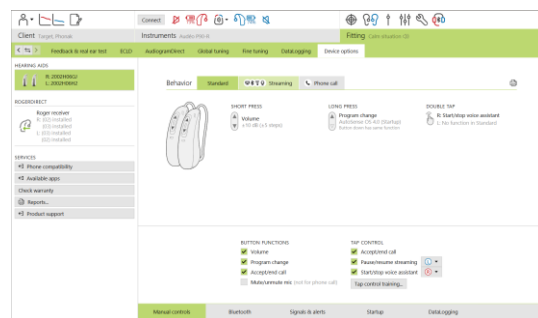
補聴器が接続状況にあれば、[**お知らせ音と警告音**]の各設定項目を実際に補聴器からデモンストレーションすることができます。

ダイレクト接続が可能な機器のみ:

- [**Bluetooth**]をクリックすると、Bluetooth 名称や使用する側の設定、ペアリング管理など、設定内容の確認および変更することができます。
- RogerDirect™ (ロジャーダイレクト)がインストールされているかは、画面左側の [**ロジャーダイレクト**]をクリックするとインストール状態を見ることができます。ダッシュボード内で補聴器アイコンの上にカーソルを重ねても、インストール状態を確認できます。

フォナック パラダイス補聴器のみ:

- タップコントロールは、[**マニュアル・コントロール**]で設定できます。タップコントロールは、電話の受話/終話、ストリーミングの一時停止/再生、およびスマートフォンの音声アシスタントの起動/停止のために使用できます。
- ダブルタップの操作をデモンストレーションするには、[**タップコントロールを練習する**]をクリックします。



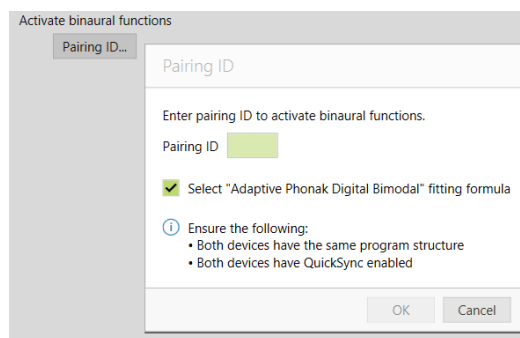
バイモーダルフィッティングの特記事項

フォナック ナイダリンク Q 補聴器は、アドバンストバイオニクス(AB)の人工内耳(CI)サウンドプロセッサと反対側でのフィッティングおよび装用に適しています。ナイダリンク Q では、人工内耳による両耳装用機能(ボリュームコントロール、プログラム構成、ストリーミングを含む)を利用できます。

補聴器を顧客のフィッティングセッションへ接続したら、フォナック ターゲットにペアリング ID を入力してナイダリンク Q のバイモーダル機能のロックを解除します。ペアリング ID は、AB CI フィッティングソフトの SoundWave™ 内で生成されます。ペアリング ID は、バイモーダルフィッティングレポートの中に記載されます。

[**ペアリング ID**]をクリックし、顧客固有のペアリング ID を入力します。アダプティブフォナックデジタル・バイモーダル(処方方式)が、フィッティングセッションに適用されます。処方方式を変更するには、ボックスのチェックを外します。または、[**フィッティング**]の下の[**基本調整**]で変更します。

ペアリング ID を編集、または変更するには、[**機器**]をクリックします。[**補聴器**]で、[**ごみ箱アイコン**]をクリックして、ペアリング ID を再入力します。



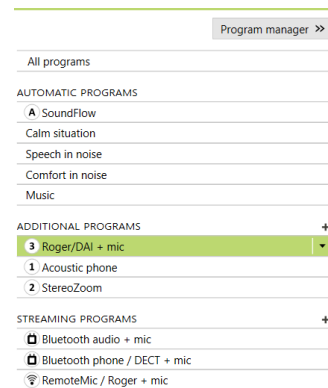
ペアリング ID を入力しても、プログラム構成、プログラムオプション、または機器オプションは自動的に設定されません。フォナックターゲットにて、手動で設定する必要があります。必要なプログラムを CI のプログラムに合うように作成、修正するには、バイモーダルフィッティングレポートにリスト表示されたプログラム構成を参照してください。

HA Program	Program Name	Program Options	CI #
A	Automatic (Startup Program)	Default Settings	1
1	Acoustic Phone 2 Beeps	DuoPhone Preferred phone ear	2
2	StereoZoom 3 Beeps		3
3	Roger(DAI) mic 4 Beeps Microphone enabled	Enabled Left	4

プログラムに対する調整と修正は、**[微調整]**で行えます。全てのプログラムを同時に調整するには**[全てのプログラム]**をクリックします。全ての音響オートマチックプログラムを修正するには**[サウンドフロー]**をクリックします。単一プログラムを修正するには、プログラムリスト内からプログラムを選択し、必要に応じて調整します。

追加マニュアルまたはストリーミングプログラムを追加するには**[+]**アイコンをクリックします。

プログラム オプションを管理するには**[プログラム オプション]**タブをクリックします。



補聴器のピープ音、およびアクセサリ オプションを設定するには、**[機器オプション]**をクリックします。

補聴器のプログラミングは、CI のサウンドプロセッサのプログラミングには影響しません。

注: コムパイロットは、CI フィッティングソフトの SoundWave™ によってのみ、設定できます。前述のペアリングは、ナイーダリンク Q とコムパイロットを自動的にペアリングします。フォナック ターゲットを使ってコムパイロットの接続やコムパイロットの設定変更を行おうとしないでください。

画面右上隅にある **[セッションを保存して閉じる]** をクリックしてセッションを閉じます。セッションは、いつでも閉じられます。ナイーダリンク Q 補聴器をフィッティングセッションから切り離すと、ナイーダリンク Q と CI の間のワイヤレス接続が自動的に始まります。

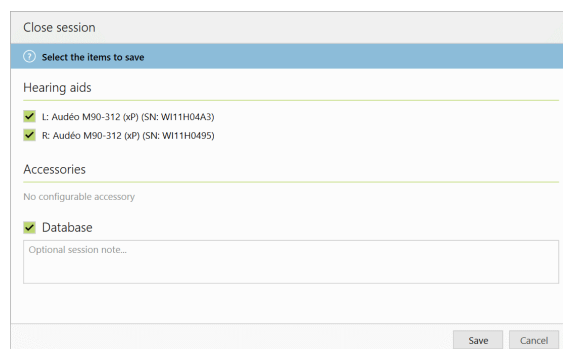
フィッティング セッションの終了

画面右上隅にある **[セッションを保存して閉じる]** をクリックすれば、いつでもセッションを閉じられます。保存するアイテムを選択します。フォナックのトライアル補聴器は、保存すると初期設定で最大 6 週間のトライアル期間が自動設定されます。

保存ダイアログでは、補聴器とアクセサリが正常に保存されたことを確認できます。

保存終了後、フォナック ターゲットは自動的に開始画面に移動します。

Noah を使用している場合、Noah の画面へ戻るには、**開始画面の右上隅にある [Noah に戻る]** をクリックしてください。



コンプライアンス情報とシンボルマークの説明

コンプライアンス情報

欧州: 適合宣言

Sonova AG は、本製品が医療機器規則(EU)2017/745 に準拠していることを宣言します。EU 適合宣言の全文については、以下のアドレスにて製造業者から入手できます。

www.phonak.com/us/en/certificates

取扱説明書は、フォナック ターゲットの[Help] (ヘルプ)機能から入手できます。全てのターゲットバージョンに関する全該当言語の取扱説明書の電子版は、以下のウェブページから入手できます。

<https://www.phonakpro.com/com/en/support/other-support/target-fitting-software/dfg-target.html>

取扱説明書の印刷版コピー(無料)を入手するには、お近くの補聴器販売店にお問い合わせください。7 日以内にコピーをお送りします。

本製品に関連して重大事故が発生した場合は、必ず補聴器販売店および居住地域の関係当局までお知らせください。重大事故とは、以下のいずれかに至った、至る可能性があった、または至る可能性がある、あらゆる直接的事故や間接的事故を指します。

- 患者、ユーザー、または他の人の死亡
- 患者、ユーザー、または他の人に関する健康状態の一時的または永久的な著しい低下
- 公衆衛生に関する重大な脅威

セキュリティに関する通知

患者データは個人に属するデータなので、適切に保護することが重要です。

- 最新のオペレーティング システムを使用していることを確認してください。
- インストール済みのターゲット ソフトウェアが最新であることを確認してください。
- Windows のユーザー ログインを有効にし、強力なパスワードを使用し、認証情報を機密として管理してください。
- 適切かつ最新のマルウェア対策およびウイルス対策を実施してください。

国内法によっては、データの紛失および/または盗難に対して免責されるには、全ての患者データを暗号化するように要求される場合があります。パソコン上の全データを保護するために、ドライブ暗号化機能(無料の Microsoft BitLocker など)を利用できます。Noah を使用している場合は、Noah のデータベース暗号化機能の利用を検討してください。










常にデータを安全な状態に保つようにしてください。ここに示した内容は、全てを網羅したものではないことに留意してください。

- 安全でない経路でデータを転送する場合は、匿名データにして送信するか、データを暗号化してください。
- バックアップデータは、紛失だけでなく盗難からも保護する必要があります。
- 今後使用しない、または廃棄予定のデータ媒体からは、全てのデータを消去してください。

ソフトウェア メンテナンス:

フォナックは、常に市場からのフィードバックをモニタリングしています。最新のターゲットソフトウェアで問題が発生した場合は、最寄りの補聴器販売店にお問い合わせください。

シンボルマークの説明

	<p>CE マークは、Sonova AG が医療機器規則(EU)2017/745 を遵守していることを示します。CE マークに続く番号は、上記の規則に基づき評価を行った公認機関のコードを表します。</p>
 名前、住所、日付	<p>EU 医療機器規則(EU)2017/745 に定義される記号の組み合わせで、「医療機器の製造業者」および「製造日」を示しています。</p>
	<p>欧州共同体における認定代理人であることを示しています。 EC REP は欧州連合への輸入業者でもあります。</p>
	<p>本機器が医療機器であることを示しています。</p>
	<p>医療機器を識別する製造業者のカタログ番号を示しています。</p>
	<p>使用説明書を参照してください。使用説明書は www.phonakpro.com ウェブサイトから取得できます。</p>
	<p>特長や機能を詳説したり、適用される関連フィッティング情報をハイライトします。</p>
	<p>エンドユーザーの体験に影響する可能性のある機能上の制限を説明し、注意すべき重要な情報をハイライトします。</p>
	<p>HIMSA 認証記号、NOAHSEAL</p>

安全に関する重要な情報

ターゲットは医療機器です。従って、本製品の使用にあたっては危害のリスクが伴います。資格を有する補聴器専門家のみが本取扱説明書に基づきターゲットを使用し、補聴器専門家が本書に記載の警告を理解し注意を払うことが重要です。

ターゲットの場合、このようなリスクは、プログラムの対象となる補聴器を通じて生じます。つまり、ターゲット自体はユーザー(補聴器専門家)や補聴器装用者に直接危害をもたらすことはありませんが、ターゲットの使用(または誤用)により以下の事態が発生する可能性があります。

- 不正にプログラムされた補聴器が患者に販売される、あるいは
- フィッティングセッション/デモンストレーションセッション中に、補聴器を通じて有害なほど大きな音が患者に提供される。

このようなリスクは非常に低いですが、補聴器専門家と補聴器装用者の両者は注意する必要があります。



高 MPO

両補聴器の出力が **132 dB** を超えています(イヤシュミレーター)。



高い耳鳴りノイズジェネレーターのレベル

両補聴器でノイズジェネレーターのレベルが **80 dB(A)** を超えています。「耳鳴りノイズ・バランス」画面に表示された最大装用時間に注意してください。



レシーバの問題

選択されたレシーバと検出されたレシーバが異なります。正しいレシーバを選択してください。



誤った側に関する情報

補聴器が反対側に設定されています。正しい側に変更してください。



接続に関する警告

年齢に応じ、補聴器にいたずら防止ソリューションを取り付ける必要があります。



測定設定

患者の耳から補聴器を取り外します。補聴器の電源をオフにしてから、再びオンにします。手順の最後に、補聴器に関する全てのフィッティングデータを前の状態に戻すことができます。

システム要件

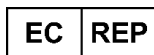
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">Windows 10、Home / Pro / Enterprise / EducationWindows 8 / 8.1、最新 SP、Pro / EnterpriseWindows 7、最新 SP、Home / Professional / Business / Enterprise / Ultimate
プロセッサ	Intel Core 以上の性能
RAM	4 GB 以上
ハードディスク容量	3 GB 以上
画面解像度	1280 x 768 ピクセル以上
グラフィックカード	表示色数 1600 万色(24 ビット)以上
ドライブ	DVD
シリアル COM ポート	RS-232 HI-PRO を使用する場合のみ
USB ポート 以下の各目的に1つずつ	<ul style="list-style-type: none">Bluetooth® 技術搭載ワイヤレス アダプター*アクセサリ プログラミングHI-PRO、ただし USB ポート経由で使用する場合Noahlink Wireless
プログラミングインターフェイス	Noahlink Wireless/ アイキューブ II/ NOAHlink/ RS-232 HI-PRO/ HI-PRO USB/ HI-PRO2
NOAHlink ドライバー	入手可能な最新バージョン
Noahlink Wireless ドライバ	入手可能な最新バージョン
インターネット接続	推奨
サウンドカード	ステレオまたはサラウンド 5.1
再生システム	20 Hz～14 kHz(+/- 5 dB)、90 dB
Noah のバージョン	最新バージョン(Noah 4.4 以上) Windows 64 ビット オペレーティング システム用 Noah の制限事項を http://www.himsa.com で確認してください。
TargetMatch	Noah のバージョン 4.4.0.2280 以降 オトメトリックス オトスイート 4.81.00 以降 オトメトリックス オーリカルフリーフィット(REM 用)、およびオーリカル ヒット(検査室での測定用)

*Bluetooth® のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。



2020-08-17

Sonova AG • Laubisrütistrasse 28 •
CH-8712 Stäfa • Switzerland



Sonova Deutschland GmbH
Max-Eyth-Str. 20
70736 Fellbach-Oeffingen • Germany



058-0125-070
フォナック ターゲッ



0459

2020 年 CE マーク取得